

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	四国財務局長
【提出日】	2020年8月12日
【四半期会計期間】	第53期第1四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	アオイ電子株式会社
【英訳名】	AOI ELECTRONICS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 中山 康治
【本店の所在の場所】	香川県高松市香西南町455番地の1
【電話番号】	087(882)1131(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 青木 良二
【最寄りの連絡場所】	香川県高松市香西南町455番地の1
【電話番号】	087(882)1131(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 青木 良二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第1四半期連結 累計期間	第53期 第1四半期連結 累計期間	第52期
会計期間	自2019年 4月1日 至2019年 6月30日	自2020年 4月1日 至2020年 6月30日	自2019年 4月1日 至2020年 3月31日
売上高 (千円)	9,840,947	10,489,264	42,342,555
経常利益 (千円)	631,282	801,739	3,419,201
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	416,030	567,725	1,798,777
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	413,669	601,209	1,608,530
純資産額 (千円)	47,173,118	48,297,008	48,043,868
総資産額 (千円)	56,940,812	57,518,636	57,758,023
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34.67	47.31	149.91
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	82.9	84.0	83.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日（2020年8月12日）現在において判断したものであります。

#### （1）財政状態および経営成績の状況

##### 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済・社会活動は停滞し、企業の経営成績や個人消費は急激に落ち込み、雇用情勢に加えて設備投資も弱含みとなるなど景気の減速懸念は一層高まる状況となりました。海外においても、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により経済活動は大幅に縮小され、海外諸国での需給、貿易および金融は大きく混乱し、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、世界的な経済活動の停滞による産業機器向け部品の低迷、自動車販売台数の大幅な減少による車載向け部品の受注減など減速感が強まりましたが、携帯情報端末向け部品は、5G通信（第5世代移動通信システム）対応端末の増産やサプライチェーンの混乱を懸念した顧客の在庫積み増しなどのため受注は概ね堅調に推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結売上高は10,489百万円（前年同期比648百万円増、6.6%増）、営業利益は790百万円（前年同期比162百万円増、25.9%増）、経常利益は801百万円（前年同期比170百万円増、27.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は567百万円（前年同期比151百万円増、36.5%増）となりました。

当社グループの製品の種類別区分ごとの売上高であります。集積回路は、携帯情報端末向け部品の受注が堅調に推移したことにより9,462百万円（前年同期比1,161百万円増、14.0%増）となりました。機能部品は、中国向けサーマルプリントヘッドの受注が大幅に減少したことにより998百万円（前年同期比508百万円減、33.8%減）となりました。

##### 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産の部につきましては、機械装置及び運搬具など有形固定資産は増加したものの、流動資産および繰延税金資産などの減少により57,518百万円（前連結会計年度末比239百万円減）となりました。負債の部につきましては、未払法人税等など流動負債の減少により9,221百万円（前連結会計年度末比492百万円減）となりました。これらの結果、純資産の部は48,297百万円（前連結会計年度末比253百万円増）となり、自己資本比率は84.0%となりました。

#### （2）経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

#### （3）優先的に対処すべき事業上および財務上の課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上および財務上の課題について重要な変更はありません。

#### （4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、460百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 設備の新設、除却等の計画

前連結会計年度の有価証券報告書提出日において未定でありました当連結会計年度における重要な設備の新設・改修等の計画は次のとおりであります。

会社名または事業所名	投資予定金額(千円)	設備等の主な内容	資金調達方法
アオイ電子(株)高松工場	2,210,000	集積回路生産設備の増設・更新 ソフトウェア開発等	自己資金
アオイ電子(株)観音寺工場	213,000	機能部品生産設備の増設・更新	同上
ハマ工業(株)	231,000	めっき設備の増設・更新	同上
ハイコンポーネッツ青森(株)	974,000	半導体生産設備の増設・更新	同上
青梅エレクトロニクス(株)	372,000	半導体生産設備の増設・更新	同上
合計	4,000,000		

(注) 1. 金額に消費税等は含まれておりません。

2. 経常的な設備の更新のための除売却を除き、生産能力に重要な影響を及ぼす設備の除売却の計画はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,600,000
計	40,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	12,000,000	-	4,545,500	-	5,790,950

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,997,000	119,970	-
単元未満株式	普通株式 2,300	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	119,970	-

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アオイ電子株式会社	香川県高松市 香西南町455-1	700	-	700	0.01
計	-	700	-	700	0.01

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について監査法人ラットランドによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	22,992,294	22,795,700
受取手形及び売掛金	9,145,109	9,254,906
電子記録債権	1,797,609	1,652,338
有価証券	3,000,000	3,000,000
商品及び製品	126,872	108,082
仕掛品	920,228	750,666
原材料及び貯蔵品	1,180,658	1,470,104
前払費用	52,167	83,256
その他	225,537	39,573
流動資産合計	39,440,477	39,154,630
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	20,364,555	20,485,220
減価償却累計額及び減損損失累計額	14,285,623	14,488,557
建物及び構築物(純額)	6,078,931	5,996,662
機械装置及び運搬具	44,316,086	45,229,861
減価償却累計額及び減損損失累計額	41,527,113	41,863,979
機械装置及び運搬具(純額)	2,788,973	3,365,881
工具、器具及び備品	7,894,521	7,973,775
減価償却累計額及び減損損失累計額	7,497,887	7,543,000
工具、器具及び備品(純額)	396,633	430,775
土地	3,384,211	3,384,211
リース資産	369,850	375,273
減価償却累計額及び減損損失累計額	215,055	224,252
リース資産(純額)	154,794	151,021
建設仮勘定	882,811	581,156
有形固定資産合計	13,686,355	13,909,708
<b>無形固定資産</b>		
のれん	161,718	158,547
その他	186,391	178,613
無形固定資産合計	348,110	337,160
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,389,228	2,437,926
退職給付に係る資産	97,026	92,534
繰延税金資産	1,313,553	1,101,645
その他	483,270	485,031
投資その他の資産合計	4,283,079	4,117,137
固定資産合計	18,317,545	18,364,006
資産合計	57,758,023	57,518,636



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,351,936	2,384,807
電子記録債務	1,610,325	1,586,605
短期借入金	190,000	475,000
1年内返済予定の長期借入金	230,429	215,774
リース債務	72,283	68,492
未払金	2,196,118	2,061,075
未払法人税等	451,085	74,708
賞与引当金	782,699	201,337
その他	695,036	1,099,773
流動負債合計	8,579,913	8,167,574
固定負債		
長期借入金	472,524	421,026
リース債務	132,229	129,516
繰延税金負債	28,801	23,093
退職給付に係る負債	400,691	383,183
資産除去債務	27,304	27,340
その他	72,689	69,893
固定負債合計	1,134,240	1,054,053
負債合計	9,714,154	9,221,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,545,500	4,545,500
資本剰余金	5,790,950	5,790,950
利益剰余金	37,895,082	38,114,829
自己株式	1,551	1,643
株主資本合計	48,229,980	48,449,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,667	79,821
退職給付に係る調整累計額	228,779	232,449
その他の包括利益累計額合計	186,111	152,627
純資産合計	48,043,868	48,297,008
負債純資産合計	57,758,023	57,518,636

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,840,947	10,489,264
売上原価	8,205,275	8,592,574
売上総利益	1,635,672	1,896,690
販売費及び一般管理費	1,007,834	1,106,443
営業利益	627,837	790,246
営業外収益		
受取利息	234	282
受取配当金	5,681	5,870
受取技術料	24,434	617
受取賃貸料	8,617	8,617
持分法による投資利益	3,818	12,269
その他	36,886	15,756
営業外収益合計	79,673	43,413
営業外費用		
支払利息	2,099	2,421
支払補償費	-	9,775
為替差損	57,442	10,848
貸与資産減価償却費	6,592	6,290
その他	10,094	2,583
営業外費用合計	76,228	31,919
経常利益	631,282	801,739
特別利益		
投資有価証券売却益	4,031	-
特別利益合計	4,031	-
特別損失		
固定資産除却損	5,464	2,333
特別損失合計	5,464	2,333
税金等調整前四半期純利益	629,849	799,406
法人税、住民税及び事業税	16,911	40,904
法人税等調整額	196,907	190,776
法人税等合計	213,818	231,680
四半期純利益	416,030	567,725
親会社株主に帰属する四半期純利益	416,030	567,725

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	416,030	567,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,460	37,153
退職給付に係る調整額	3,099	3,669
その他の包括利益合計	2,360	33,484
四半期包括利益	413,669	601,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413,669	601,209
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により経済、企業活動への深刻な影響が見込まれております。当第1四半期連結累計期間に対する影響については、今後の収束時期および業績への影響を見通すことは困難であります。現時点で見積もることが可能な範囲で固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	686,339千円	740,473千円
のれんの償却額	3,170	3,170

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	467,972	39	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月25日 定時株主総会	普通株式	347,978	29	2020年3月31日	2020年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)および当第1四半期連結累計期間  
(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、電気・電子部品の製造販売を事業内容とする単一セグメントであり、当社グループ全体で包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。よって、セグメント情報の記載は省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	34円67銭	47円31銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	416,030	567,725
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	416,030	567,725
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,999	11,999

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月7日

アオイ電子株式会社

取締役会 御中

監査法人 ラットランド

京都府京都市

指定社員 公認会計士 谷口 貢 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 美藤 直人 印  
業務執行社員

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアオイ電子株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アオイ電子株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正

妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。